

組立設置・取扱説明書

保証書添付

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

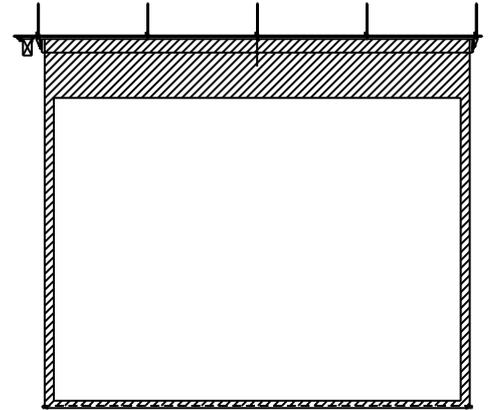
本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や専門の施工業者に依頼してください。

施工業者様へ

設置するにあたり、大型スクリーンのため高所の足場や、チェンブロックなどを別途ご用意ください。その他準備品は「別途ご用意いただくもの」をご参照ください。

お客様の安全のため設置場所の強度には十分ご注意の上、設置施工をお願いします。

- 工事を請け負われた工事業者のかたは、設置完了後にこの組立設置・取扱説明書を、お客様へご説明の後お渡しください。



SEL

もくじ

安全上のご注意	2~3
製品の構成と配線	4
製品質量と取付穴芯	5
付属品の確認	6
設置の前に	7
別途ご用意いただくもの	7
施工の流れ	7~14
スクリーンの利用方法	14
故障かな?と思ったら	15
問い合わせ先（テクニカルサポートセンター）	16
保障について	16

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告



組立ておよび設置は必ず専門技術者が2人以上で行う

1人での作業や不慣れな組立て・設置は、思わぬけがを負うことや、本機が落下する恐れがあります。



設置場所の強度確認の上、質量に耐える場所に設置する

長期使用を考慮し、強度不足の場合は必ず補強をしてください。思わぬけがを負うことや、本機が落下する恐れがあります。



異常時や本体に水が入った場合は、運転を中止する

異常な音や臭いがする場合等動作に異常がある時や、本体に水が入った場合は、すぐ **STOP** ボタンを押して使用を中止してください。そのまま使用すると火災や故障の原因となります。中止後は、取扱店または当社に相談してください。



スクリーンを無理に引き出さない

本体または機構が破損したり、スクリーン生地が脱落する原因になります。



スクリーンにぶら下がったり、物を掛けたりしない

本体またはスクリーンの破損の原因になり、危険も伴います。



分解や修理・改造をしない

分解禁止 火災・感電の原因になります。 ● 修理は、取扱店または当社までご相談ください。

注意



作業時はヘルメットの着用、高所では安全帯を使用する



吊荷の下には入らないこと



スクリーンに鋭利な刃物、尖った金属等を近づけない
破損の原因になります。



スクリーン面はていねいに扱ってください

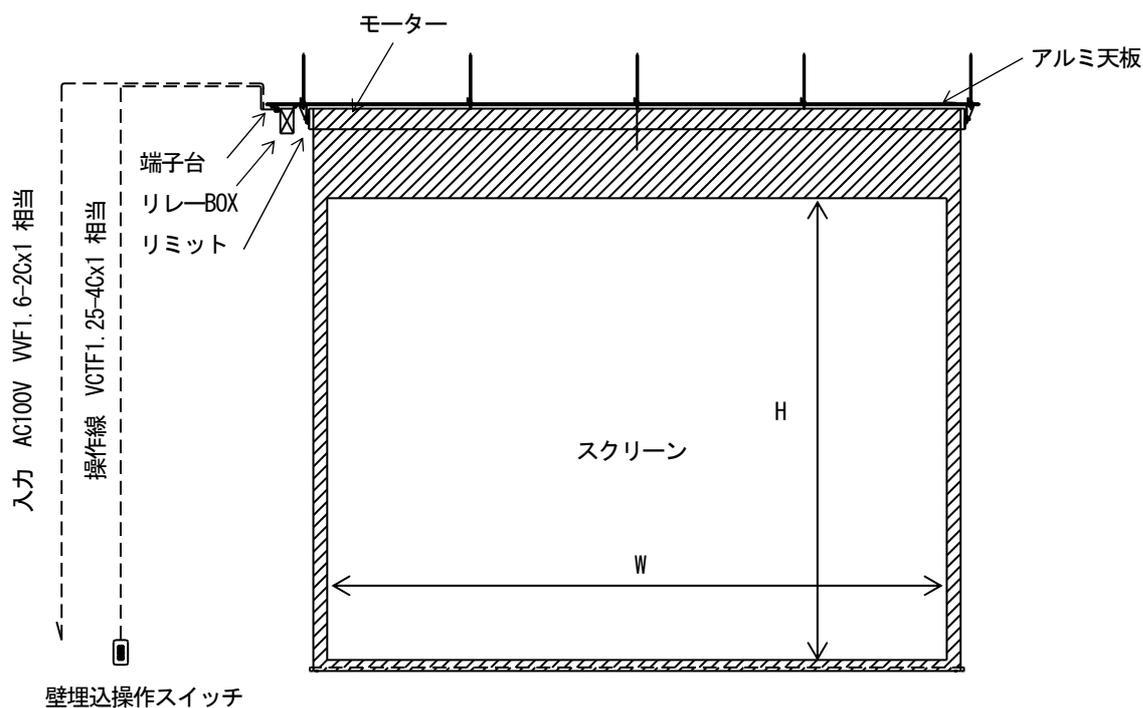
スクリーン表面は特殊な加工が施されています。汚れや傷がつきますと映写効果を損なうことがありますので、手で触れたり、固いものでこすったり引っかいたりしないでください。

表面のホコリは、乾いた柔らかい布で軽くふくか、柔らかいブラシで払ってください。

水で湿らせた布やベンジン、シンナーなど薬品類は使用しないでください。

■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

製品の構成と配線



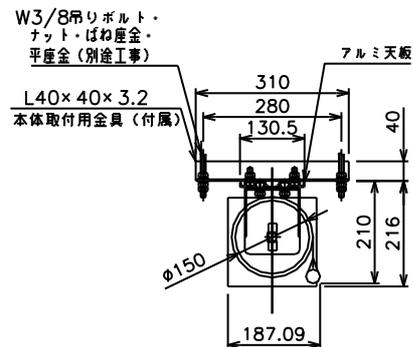
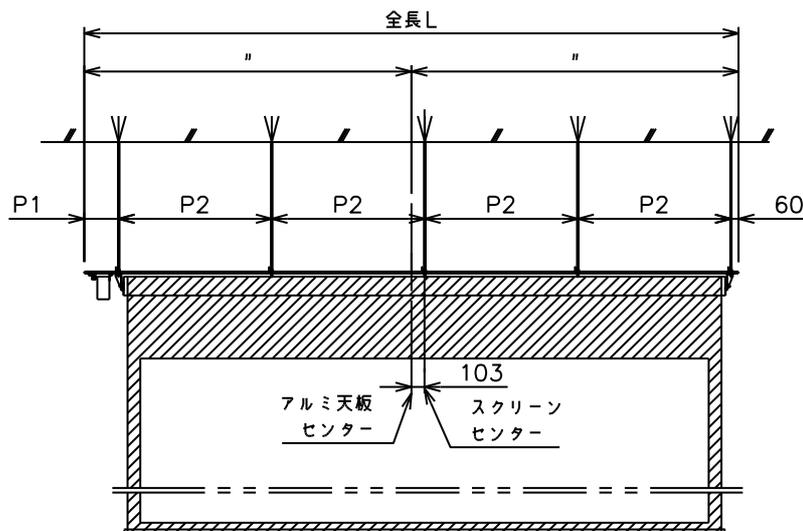
型 式	アスペクト比	イメージサイズ W×H(mm)	ロー径 D (mm)	昇降速度 (mm/sec)	電源電圧 定格電流	生地	
						柄付 WG201	柄付 WG208
SEL-220VM1	4 : 3 (NTSC)	4470 × 3353	φ150	50Hz : 86 ・ 60Hz : 110	AC100V (50/60Hz) 定格電流 2.2/2.4A	●※	○
SEL-250VM1		5080 × 3810				●※	○
SEL-270VM1		5486 × 4115	φ175	50Hz : 101 ・ 60Hz : 128		●※	○
SEL-300VM1		6096 × 4572				●※	○
SEL-220WM1	16 : 10 (WXGA)	4871 × 3045	φ150	50Hz : 86 ・ 60Hz : 110		●※	○
SEL-250WM1		5535 × 3460	φ175	50Hz : 101 ・ 60Hz : 128		●※	○
SEL-270WM1		5977 × 3736				●※	○

マスク無しタイプ

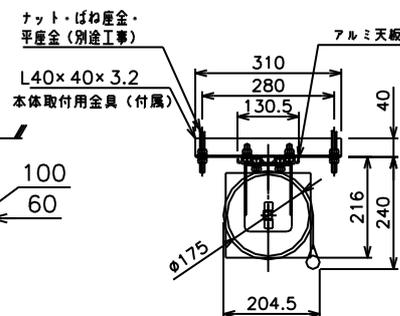
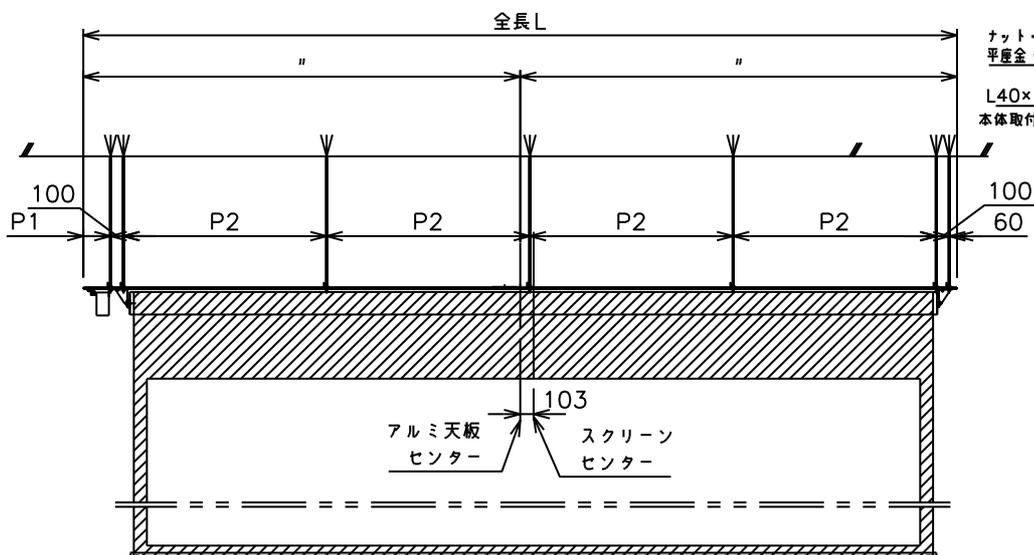
型 式	アスペクト比	スクリーンサイズ W×H(mm)	ロー径 D (mm)	昇降速度 (mm/sec)	電源電圧 定格電流	生地	
						柄付 WG201	柄付 WG208
SEL-220WN1	16 : 10 (WXGA)	5071 × 3625	φ150	50Hz : 86 ・ 60Hz : 110		●※	○
SEL-250WN1		5735 × 4040	φ175	50Hz : 101 ・ 60Hz : 128		●※	○
SEL-270WN1		6177 × 4316				●※	○

※ 生地●は、イメージ内に継ぎ目があります。

製品質量と取付穴芯



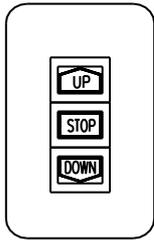
型式	質量 (Kg)	全長 L (mm)	P1 (mm)	P2 (mm)
SEL-220VM1	51.5	5144	284	1200
SEL-250VM1	58.6	5754	254	1360
SEL-220WM (WN1)	53.6	5545	285	1300



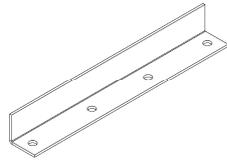
型式	質量 (Kg)	全長 L (mm)	P1 (mm)	P2 (mm)
SEL-270VM1	86.4	6260	200	1450
SEL-300VM1	96.5	6870	210	1600
SEL-250WM1 (WN1)	83.9	6309	209	1460
SEL-270WM1 (WN1)	90.7	6751	211	1570

付属品の確認

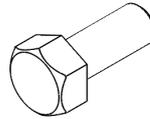
- 設置の前に必ず確認してください。
(物件によっては、内容が変更になることがあります)



一連用壁埋込スイッチ ×1



取付金具 ×5(7)



六角ボルト(M10×30) ×10(14)
六角ボルト(M10×20) ×8(12)



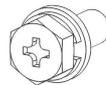
六角ナット(M10)
×18(26)



平座金(呼び10)
×18(26)



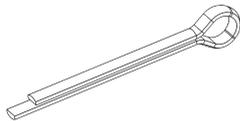
ばね座金(呼び10)
×18(26)



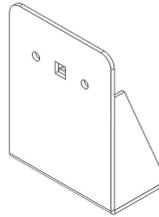
十字穴付き六角ボルト
(M6×15) ×2



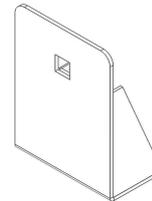
ドリルタッピング(4) ×1
SEL-220VM、250VM、
220WMのみ付属



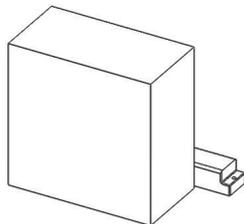
割ピン ×2



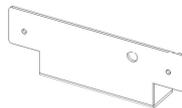
サイドブラケット(モーター側) ×1



サイドブラケット(反モーター側) ×1



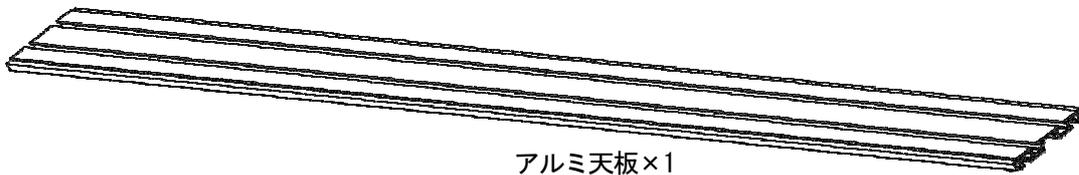
リレーボックス/端子台 ×1



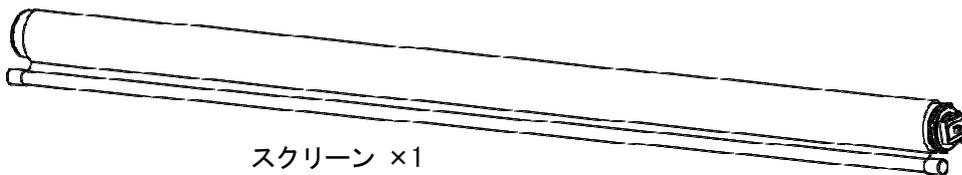
リレーボックススペース ×1
(ボックス固定ねじ付)



端子台ベース ×1
(端子台固定ねじ付)



アルミ天板×1



スクリーン ×1
(モーター内蔵・下パイプ付属)

SEL-270VM、300VM、250WM、270WMについては() 数量になります。

設置の前に

- 本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。
- 埋込スイッチの取り付けは、すでに設置されているスイッチボックスをご使用ください。（スイッチボックスが無い場合は、市販の露出ボックスやはさみ金具等を別途ご用意ください。）
- 屋内配線工事は、必ず電気工事士の有資格者が行ってください。
- 設置後は、この組立設置・取扱説明書を使用者（運用責任者）へお渡しして、大切に保管いただいでください。

別途ご用意いただくもの

設置にあたり、以下の道具・資材および部材をあらかじめご用意ください。

- 作業高さにあった足場（ローリングタワーまたは建築足場）
- チェーンブロックまたは電動ウインチ（吊荷重に対応したもの）
- 玉掛に必要なワイヤーロープ、スリングベルト等
- 電動ドリル、インパクトドライバー等
- スパナ類
- 電気配線、結線に必要な工具
- ドライバー
- スクリーン生地を巻くためのロープ
- 養生材

施工の流れ

下記設置要領は、案件ごとに設置環境が異なることが多いため、一例として説明しています。なお、お取り扱い上の不備、天災等によるトラブル、事故等について当社は責任を負いかねます。基本的には、各現場毎の施工図面を用いて作業を進めてください。

作業手順は、以下の通りです

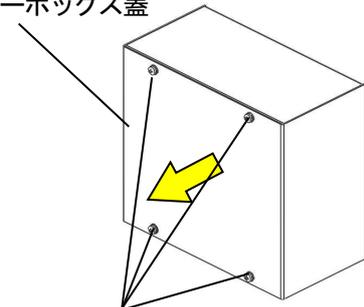
- ① リレーボックス/端子台へのベースの取り付け
- ② アルミ天板へのサイドブラケットの取り付け
- ③ アルミ天板の設置
- ④ スクリーン生地の取り付け
- ⑤ リレーボックス、端子台の取り付け
- ⑥ 結線
- ⑦ リミット位置調整
- ⑧ オンディレイタイマーの設定
- ⑨ ボルト類の増締め、確認

①リレーボックス/端子台へのベースの取り付け

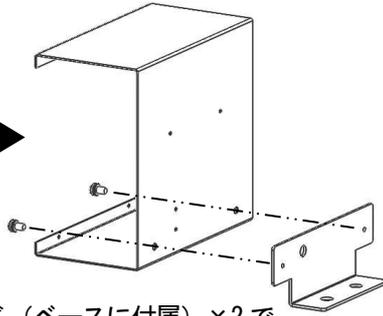
リレーボックス/端子台にリレーボックスベース及び端子台ベースを以下のように取り付けます。

※ねじはしっかりと固定してください。

リレーボックス蓋

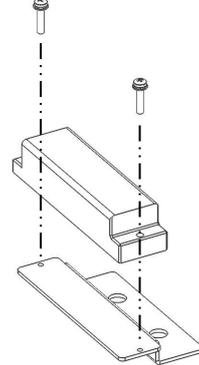


固定ねじ 4箇所緩めて蓋を取り外す。



固定ねじ (ベースに付属) ×2 でリレーボックスベースを固定する。

固定ねじ (ベースに付属) ×2 で端子台ベースを固定する



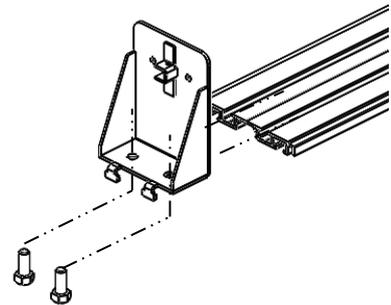
②アルミ天板へのサイドブラケットの取り付け

(1) アルミ天板端のサイドキャップを取り外し、アルミ天板背面溝 2 箇所にサイドブラケット

(モーター側)、六角ボルト (M10×30)

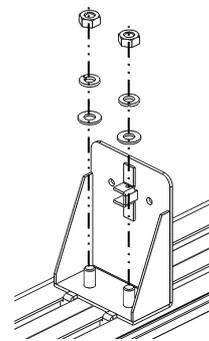
を各 1 本、計 2 本差し込みます。

(SEL-270VM、300VM、250WM、270WM は各 2 本、計 4 本)



(2) サイドブラケット (モーター側) をスライドさせ、

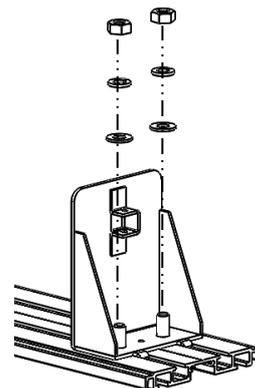
六角ナット (M10)、ばね座金 (M10)、平座金 (M10) で固定します。



(2) サイドブラケット (反モーター側) をスライドさせ、

六角ナット (M10)、ばね座金 (M10)、平座金 (M10) で

固定します。



③アルミ天板の取り付け

まず施工図面と現場を見比べて、相互が一致しているかを確認してください。
施工図面と異なる箇所がありましたら、図面上に描き込んで、記録を残してください。
施工図面と現場が異なっているまま工事を行うと、重大なトラブルや事故につながる可能性がありますので、注意してください。
また障害物などがあり、施工図面通りに設置できない場合は、現場担当者と打ち合わせてください。
作業時は床面に養生処理を行ってください

アルミ天板背面に取付金具を取り付け、アルミ天板を吊りボルトに固定します



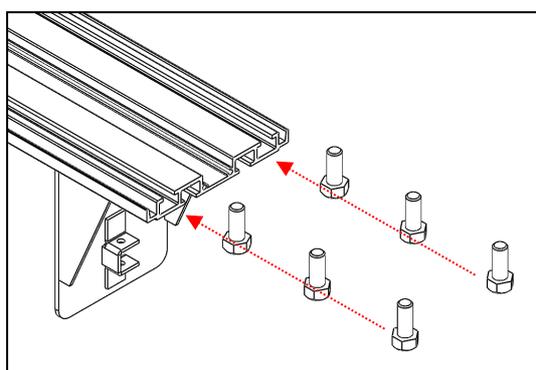
注意

保護紙は設置が終了するまで外さないでください。保護紙は梱包・輸送・設置等の作業からスクリーンを保護するためにあり、外してしまうとシワの入る原因となります。

(1) アルミ天板端のサイドキャップを取り外し

アルミ天板背面溝 2 箇所には六角ボルト (M10×30)
を各 5 本、計 10 本差し込みます。

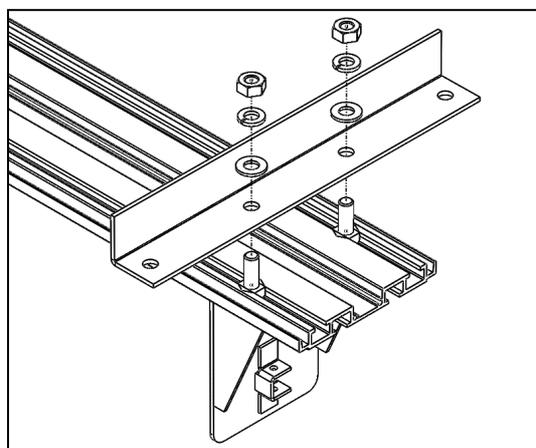
(SEL-270VM、300VM、250WM、270WM は各 7、計 14 本)



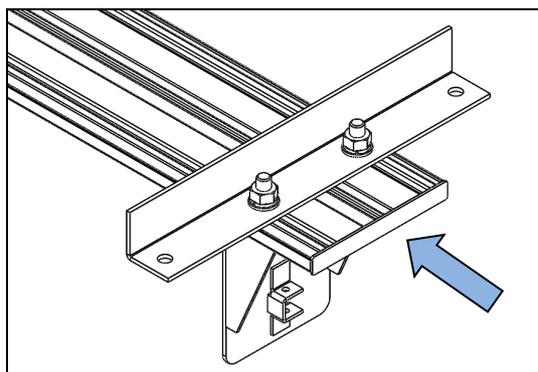
(2) 取付金具を吊りボルト位置に合わせて、六角ナット

(M10)、平座金 (呼び 10)、ばね座金 (M10) で
固定します。

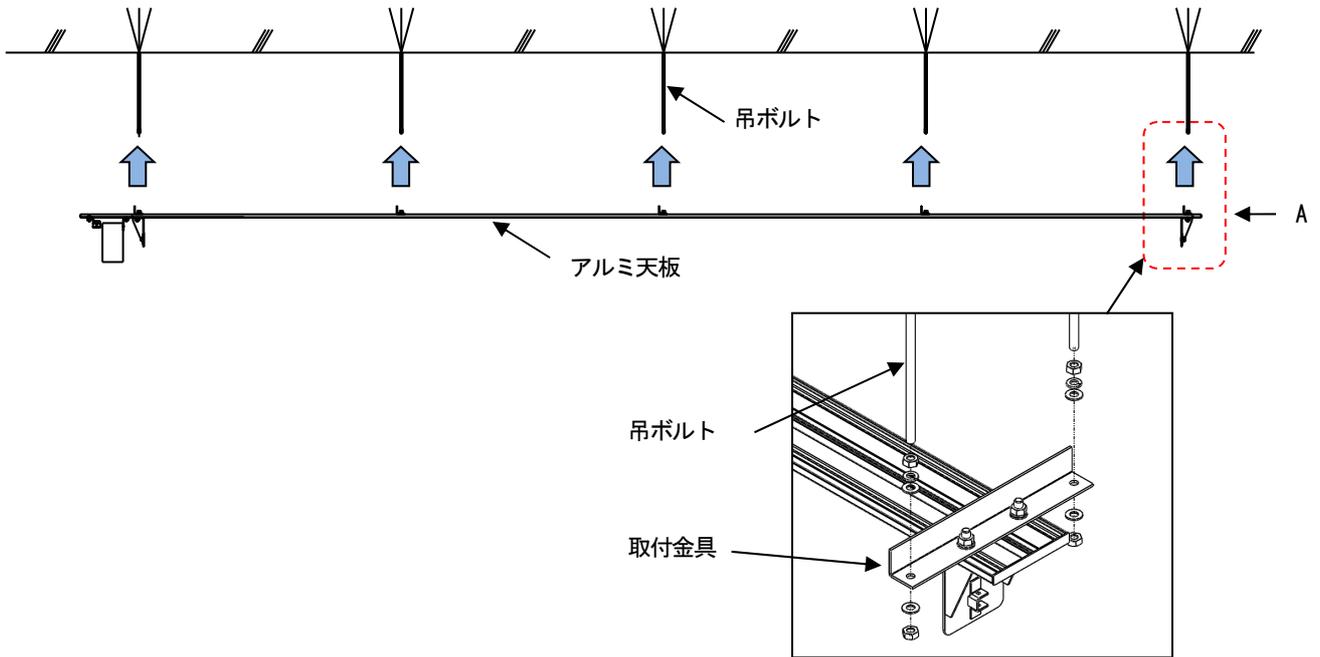
取付穴芯寸法は『製品質量と取付穴芯』を
参照ください。



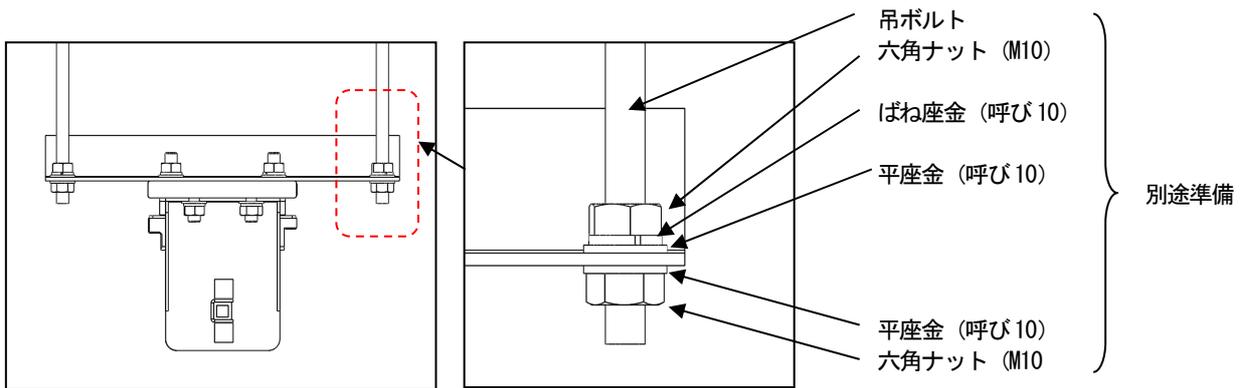
(3) アルミ天板両端にサイドキャップを
取り付けます



(4) 吊ボルトに取付金具を平座金・ばね座金・六角ナットを使い固定します。
 (吊ボルト・平座金・ばね座金・六角ナットは別途準備)

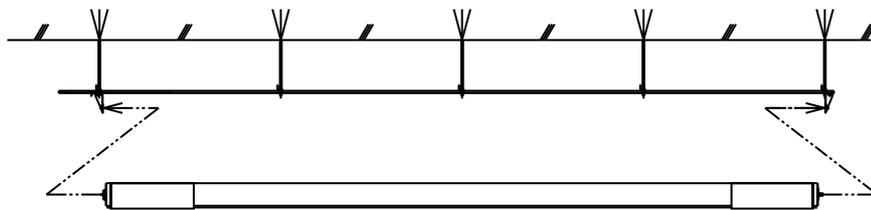


A 矢視図

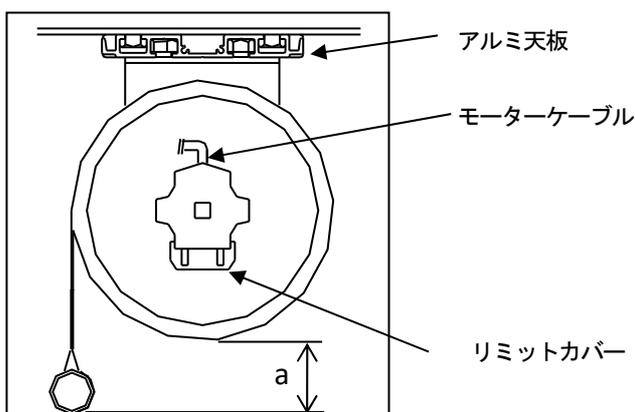


④スクリーン生地を取り付け

設置したアルミ天板にスクリーン生地を取り付けます。

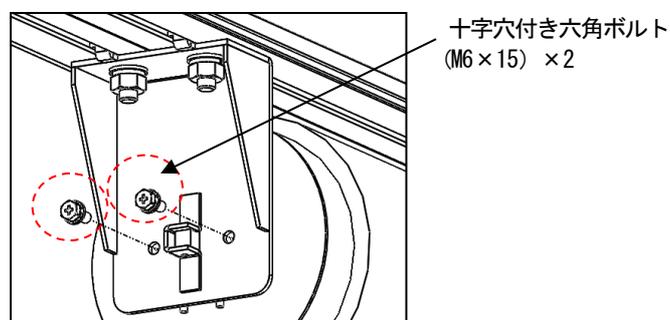
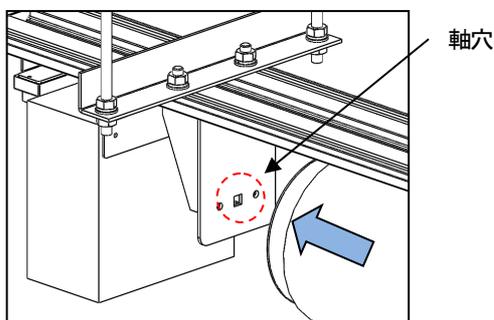


- (1) スクリーン生地を取り外し時に緩めたブラケットをあらかじめ右にスライドさせておきます
- (2) 左側ブラケットの穴にスクリーン生地左端のモーター角軸をリミットカバーが下になるよう差し込み、十字穴付き六角ボルト (M6×15) 2本を使い固定します。

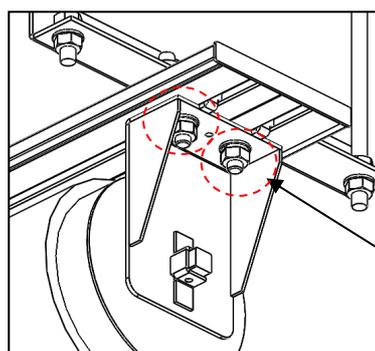
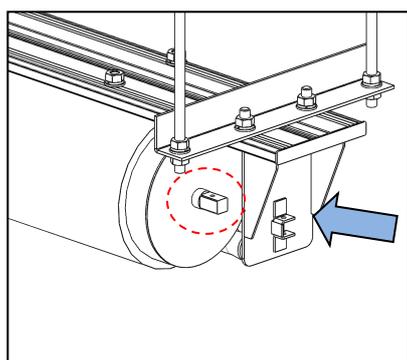


工場出荷時、a 寸法を 100mm～150mm 程度として設定し、工場より出荷しています。

スクリーン生地取付の際は、モーターのリミットカバーが下向きで、a 寸法が 100mm～150mm 程度であることを確認してください。

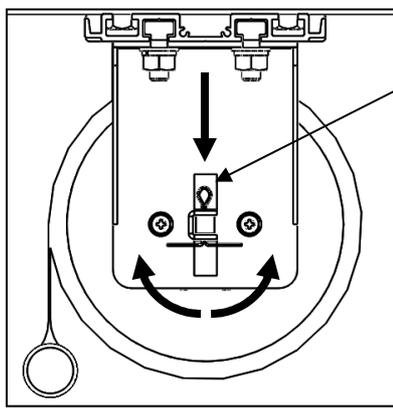


- (3) 右側のブラケットを左にスライドさせスクリーン生地右端の角軸に差し込み六角ナット (M10) を締め固定します。

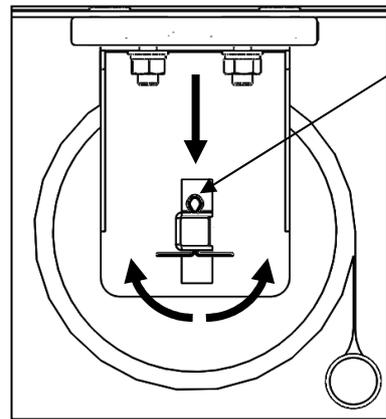


六角ナット (M10) × 2
(SEL-270VM, 300VM, 250VM,
270VM は各 7、計 14 本)

(4) ブラケットの穴と軸に空いた穴をあわせ、上から割ピンを差し込み開きます。(左右各1)

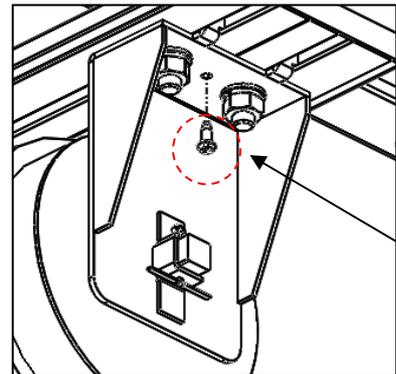


割リピン



割リピン

(5) ドリルねじでブラケットを固定します。
(SEL-300VM, 250WM, 270WM は不要です)



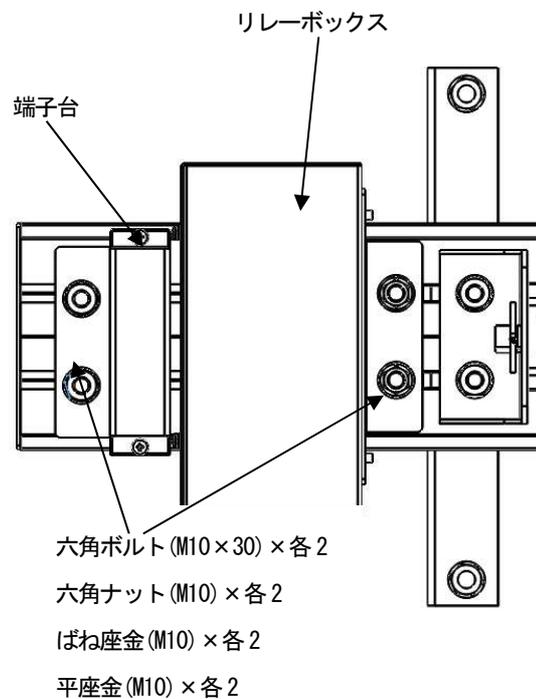
ドリルねじ

(6) スクリーン保護紙を外します

⑤リレーボックス、端子台の取り付け

リレーボックス、端子台を六角ナット (M10)、
ばね座金 (M10)、平座金 (M10) で固定します。

※固定は各 2 箇所、計 4 箇所

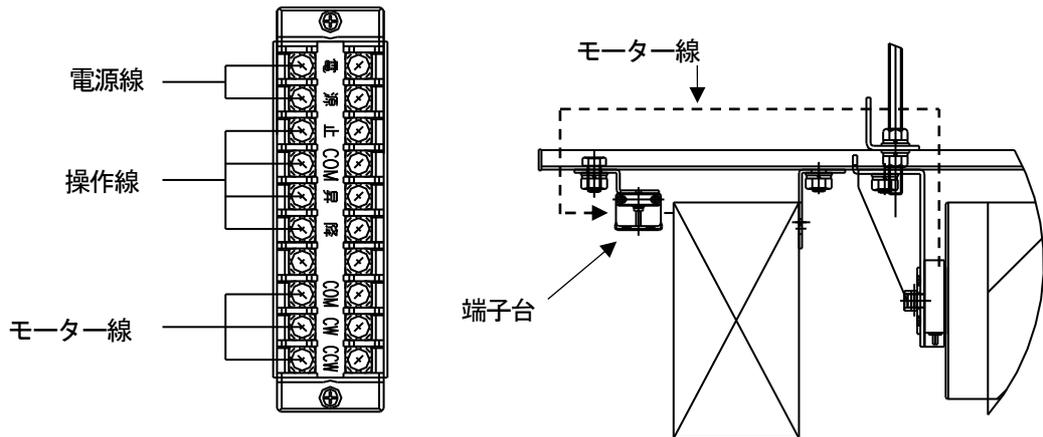


⑥ 結 線

⚠ 注 意

結線の際は、ショートや感電の恐れがありますので、電源側に通電していないことを確認してから行ってください。

- (1) 端子台に、電源線、モーター線、操作線を結線します。
電源線に通電していないことを確認してから結線してください。
モーター線は、マークチューブの表記と端子台の表記を合わせて結線します。
操作線は、埋込スイッチのCOM・昇・降・止を、端子台の表記と合わせて結線します。



- (2) すべての結線が終わったことを確認したら、電源を投入します。

⑦ リミット位置調整

スクリーンは任意に停止位置を変更することができます。

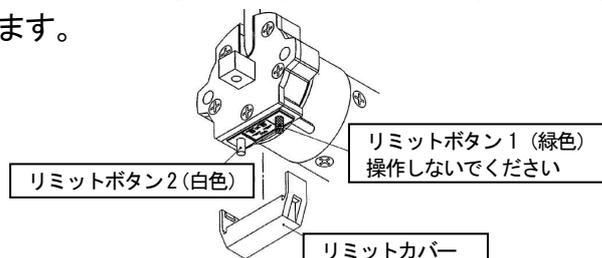
リミットは工場出荷時に設定されています。

停止位置を変更される場合は下記内容に注意してください。

- ・ 上限リミットについては調整しないでください。 ※リミットボタン1（緑色）
生地巻きすぎにより平面性の劣化、生地破れ、部品破損に至る場合があります。
- ・ 下限リミットについては、生地に貼ってある「STOP」ラベルより生地を引き出した位置で
設定しないでください。生地落下の原因となります。
- ・ モーターの連続動作可能時間は4分です。4分を超えるとモーター過熱防止装置が働き、動作が
出来なくなります。（15～20分冷却後、再度動作可能となります）

下限リミット調整手順

1. リミットカバーを外します。
2. リミットボタンは上下にスライドします。リミットボタン2（白色）を押し （OFF）にしてください。
3. スクリーンを昇降させ、希望の位置で停止してください。
4. リミットボタン2（白色）を押し （ON）にもどしてください。
5. スクリーンを昇降させ、正確にリミット設定がされているか確認します。
6. リミットカバーを取り付けます。



- ・ 上限リミットを誤って解除してしまった、または、特別の理由により上限位置の変更が必要な場合は、テクニカルサポートセンターへご連絡ください。

⑨ ボルト類の増締め、確認

各所取付ボルト類の緩みがないか、増し締めを行い確認してください。

⑧ オンディレイタイマーの設定

添付の「SEL タイマー設定変更手順書」に従い、オンディレイタイマーを設定してください。

⑨ ボルト類の増締め、確認

各所取付ボルト類の緩みがないか、増し締めを行い確認してください。

スクリーンの利用方法

■ 壁埋込スイッチ（止 B 接点）利用方法

● スクリーンを上げる時

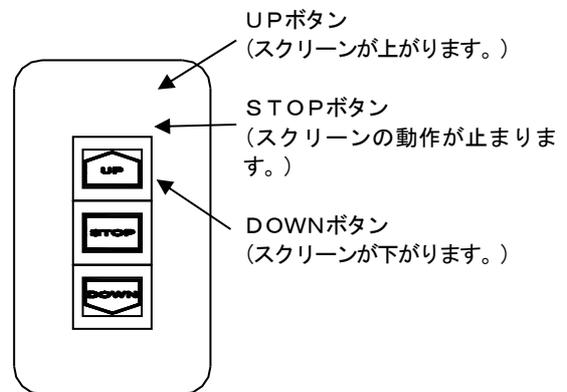
埋込みスイッチの〔UP■〕ボタンを押してください。
スクリーンが収納されて、自動的に止まります。

● スクリーンの動作を途中で止めるとき

埋込みスイッチの〔STOP■〕ボタンを押してください。
ボタンを押した位置で止まります。

● スクリーンを下げる時

埋込みスイッチの〔DOWN■〕ボタンを押してください。
スクリーンが所定の位置まで下降し、自動的に止まります。



UPボタン
(スクリーンが上がります。)

STOPボタン
(スクリーンの動作が止まります。)

DOWNボタン
(スクリーンが下がります。)

動作中逆転動作をさせる時は、〔STOP■〕ボタンを押し一旦停止させてから行ってください。

故障かな？とおもったら

異常が生じたときは修理を依頼する前に次の点検をしてください。点検前に必ず電源を切ってください。下記の項目にしたがって点検されてもなお異常がある場合は、取扱店または当社までお問い合わせください。

症状	チェック	処置
スクリーン映写面が斜めになる	スクリーンは水平に取り付けられていますか？	もう一度取付穴位置を確認してください。
スクリーンが動作しない	電源電圧がはいっていますか？	テスターを使い電圧をはかってください。
	結線不具合がありませんか？	<結線方法>を確認し正しく結線をおこなってください。
	モーターの過熱防止装置が働いて停止していませんか？ (連続動作4分で作動します)	モーターの冷却のためしばらく放置してから操作してください。(15~20分)
スクリーンの収納が終わってもモーターが止まらない	上限リミットが解除されていますか？	テクニカルサポートセンターへご連絡ください。
スクリーンが下限位置を超えても止まらない。	下限リミットが解除されていますか？	<リミット調整方法>を確認しリミット設定を行ってください。

■ 故障の場合

修理が必要な場合は、取扱店またはテクニカルサポートセンターまでご連絡ください。

製品保証内容は以下の QR コード及び URL より WEB サイトにてご確認いただけます。



<https://www.os-prod.com/products/warranty/>

製造販売元 株式会社 オーエスエム

連絡先:株式会社オーエス テクニカルサポートセンター

〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL:0120-465-040 FAX:0120-380-496

(受付時間:平日 9:00~17:50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail : info@os-worldwide.com